

令和4年10月1日から令和5年3月31日までの業務状況及び経理状況について

1. 高山市下水道事業の概要

(1) 総括事項

令和4年度下期における高山市下水道事業の業務状況は、接続件数は29,036件で、前年同期比129件の増、処理水量は5,551,854 m³で、前年同期比297,883 m³(5.1%)の減、有収水量は4,679,758 m³で、前年同期比29,605 m³(0.6%)の増となりました。

経理状況については、営業収益は737,133,167円で前年同期比8,702,206円(1.2%)の増、営業外収益は728,797,949円で前年同期比15,016,796円(2.1%)の増となりました。事業費用は1,927,544,225円で、前年同期比124,521,868円(6.9%)の増となりました。当年度下期の収支は455,802,040円の純損失となり、上期の純利益455,802,040円を合わせると、当年度純利益としては0円となりました。

以上が令和4年度下期の業務状況、経理状況の概要です。今後も、人口減少による下水道使用料収入の減少が懸念される中、コロナ禍以降の収入減も大きく、下水道事業を取り巻く環境は厳しくなることが予想されますが、令和4年度に策定した下水道ビジョン・経営戦略に基づき、処理区再編を始めとする、徹底した経営の効率化や健全化に取り組むとともに、処理施設の長寿命化等を計画的に実施し、汚水の適正処理による快適な生活環境と流域の良好な水質確保に努力してまいります。